

未知満ちた

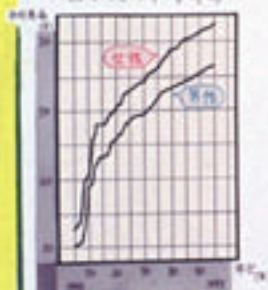
人生発掘!

つい最近、日本人の平均寿命は10年連続世界でトップと報道されました。これは医療などの発達のおかげと思われる。このため、私たちの国は大変幸福であるとよく言われます。

しかし、高度な医療技術によって寿命が延びていだけで、はたして本当に幸せなんでしょうか。中には生きることへの満足感を待たずにただ生かされているだけのお年寄りも少なくないのが現状です。老後を元気に人間らしく生きたいというのは皆の共通の願いであるはず。張り合のない生活を送っていると、どうしても病気がちになりかねません。医療に頼りきりになる前に、普段の暮らしの中で人から頼りにされ、社会的存在の意義をお年寄り自身が強く感じることで、生きる意欲がさらにわいてくるのではないのでしょうか。

そこで私たちは、お年寄りの人々が生きる意欲を強くいただける様々な企画を、意識調査をもとに検討してみました。

● 年次別にみた
日本人の平均寿命



● 休日の過ごし方

気分転換	45.0%
健康増進	30.0%
趣味・習いごと	29.9%
社会奉仕活動	9.8%

● 今、生きがいになっていること

健康であること	65.3%
家族が仲良いこと	50.6%
近所と仲良いこと	27.7%
趣味があること	11.4%

● 今、一番したいこと

健康を保つこと	63.9%
家族や近所と仲良いこと	36.1%
経済的安定を得ること	24.5%
体力にちあう仕事や旅行を すること	16.8%
趣味を続けること	10.3%

※山形市社会福祉協議会《高齢者を対象
とした意識調査》より

この結果より、多くのお年寄りは健康であることや、周囲の人々と仲がよいこと、というように精神的な面の安定を得る事で、生きがいとしていることがわかります。また、「趣味があること」に喜びをみだしているお年寄りも少なくありません。

このことから、身近な社会での良好な人間関係や、没頭できる趣味などを持つこと、つまり「生きがい」と言うのは、自分で自ら何かを「する」ことなのではないかと思いました。

よって私たちは、お年寄りが年齢にあった楽しみや夢をさかしながら充実した、はりあいのある老後を通せるために、生きがいをみつける糸口となるだろう4つの種類に分けてデザインしてみました。

生きがい探しの4つの部類	生きがい発掘への提案	提案のわらい
1 身体的健康	①ボランティア活動 ②故郷の匂を食べよう ③大いなる挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会福祉に参加することは大切 ■ グループで街めぐり ■ 匂の味 故郷の味を食べていこう ■ 定期的に体力測定をして己を知る
2 ふれあい	①若者との交友 ②近隣との交友	<ul style="list-style-type: none"> ■ お年寄りの長年の経験、知恵を生かして交流を図る ■ 個人へ体験談(恋愛実話etc.)をおまじり好きなお年寄りに話してもらう ■ 競争体験の促進、記念館を建てる
3 趣味	①人材発掘絵巻 ②テレつくん	<ul style="list-style-type: none"> ■ お年寄りが先生になって、特技をいかせ ■ 誰もが楽に本を読めるようにする ■ 趣味のあることに触れてみよう
4 国際交流	①パソコン通信で国際人 ②カルチャーフェスティバル ③生きがい自慢日だまり会議 ④あな、ゆかしツアー	<ul style="list-style-type: none"> ■ パソコン通信でお年寄りも国際交流を! ■ 外国のお年寄りと趣味・特技の交換発表 ■ 生きがいとは何ぞや?! ■ 世界にも視野を広げれば、外国へ行ってみたくなる!



①～④の企画・情報を整理し、かつ早期に引出せるように、このようなパソコンを提案します。

このパソコンは、まず高齢者が多く集まる場所(病院の待合室、老人ホームetc.)に設置。また個人で所有希望する人のために、貸与制度を設ける。操作方法は、声、又は画面に触れる、のどちらもできる。

1 身体的健康

企画① ボランティア活動

企画② 故郷の旬を食べよう

企画③ 大いなる挑戦



2 ふれあい

企画① 若者との交友

企画② 近隣との交友



- 学生の研究発表のアドバイザーとなる。
- 豊かな経験につちかわけた知恵と工夫をいってこそ発見した姿、思いがけない楽しみ、戦争経験などの体験談を語る。
- 戦争経験者は年代域の傾向にあるので、貴重な体験を伝えていくために、地域ごとに戦争体験ライブラリーをつくる。ビデオや本や絵にまとめて保存する。

3 趣味

企画① 人材発掘絵巻

- 趣味の仲間を増やしたり、講師にもかえる人材を探し出せる絵地図をつくらう！



山形市の町ごとに地区が出て、趣味別で分類され、その中から自由に選択できる。趣味をもった人の似顔絵にふれると、次のように作動する。

個人データのほか、その人が講師となる講習会の日時、場所などのデータが出る。同時に声でも知らせる。

川村 一郎
書道
今週の日曜
月文水会室
川村 一郎



企画② テレつくん

ページ数

テレビ画面



- 図書館と直結したテレビ。図書館の蔵書を自由に選ぶことができ、本の文字がテレビの画面にうつり、朗読もしてくれる。ページはボタン一つですすむ仕組み。

4 国際交流

企画①パソコン通信で国際人



行	特技・趣味
高野	
小行	

特技・趣味	氏名	国籍



④各国の高齢者の情報が特技・趣味別に整理されている。

⑤相手の動く映像・情報・字幕が映し出される。相手の声が瞬時に翻訳されてスピーカーから流れる。2ヶ国語の知り得る自由。方言から外国語への翻訳も可能。

企画②カルチャーフェスティバル

1部門を一定期間に各国で開催する。

- ・国際映画祭
- ・演劇祭
- ・朗読祭
- ・音楽祭
- (合唱・演奏)
- ・美術祭

高齢者が主体となり、参加・運営する。

高齢者の発表交流の場となっている。また、体験・研修もできる。

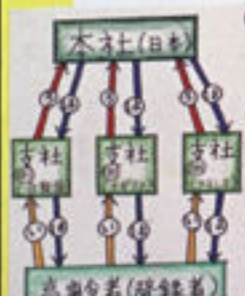
企画③生きがい自慢日だまり会議

健康で生きがいを持ち、生きることに関心のある高齢者が、パソコンを通じて定期的に各国から集まり、自分の生きがい・健康についての考えや体験談を交換し、刺激しあう。

不特定多数の高齢者と交流できるようにバーチャル形式で行う。

企画④あな、ゆかしツアー

《ツアー企画提案参加方法》



- ① 高齢者(登録者)がツアー企画を各支社に提案する。
 - 例
 - ・名所めぐりをした。
 - ・有名な建築物を見に行った。
 - ・本場の劇場に見に行った。
 - ・思われない子供達にボランティアをした。
- ② 高齢者(登録者)の提案を各支社を通じて本社に伝える。本社で企画を決定する。
- ③ 各支社を通じて高齢者(登録者)に企画内容を伝え、参加者を募集する。

※ 会社はそれぞれ、高齢者が主体となって管理・運営している。

